

LinkedIn ラーニングおよび Azure AD SSO 設定ガイド

2021 年 6 月 28 日

この文書を読む目安は 8 分です

この文書の内容

以下の手順では、LinkedIn ラーニングおよび Azure AD SSO の設定プロセスについて説明します。

1. LinkedIn ラーニング用に Azure AD SSO を
設定してテストします。



2. Azure AD のテストユーザーを作成して割り当てます。



3. LinkedIn ラーニング SSO を設定します。



4. ユーザーライセンスを自動的に割り当てて、SSO をテストします。



5. 以上で操作は完了です。受講者は、Azure AD SSO 経由で LinkedIn ラーニングコンテンツにアクセスできるようになりました。



Azure AD および LinkedIn ラーニング SSO の概要

組織アカウントの管理者は、LinkedIn のエンタープライズプラットフォームに統合されている Azure AD SSO を使用して LinkedIn ラーニングの認証を受けるように会社を設定できます。

前提条件

- 会社のメールアカウント
- Azure AD の契約プラン。契約プランをお持ちでない場合は、[無料アカウント](#)をご利用いただけます。
- LinkedIn ラーニングのすべての管理者権限
- ID プロバイダー (IdP) 管理者権限

シングルサインオン (SSO) について

エンタープライズシングルサインオン (SSO) により、自社の従業員が個人の LinkedIn 認証情報の代わりに会社の認証情報を使用して、サポートされる LinkedIn アプリケーションにサインインすることができます。

LinkedIn アプリケーションを使用する場合、SSO の使用や SSO プロバイダーとの統合は必要ありません。SSO が設定されていない場合、従業員は現在利用中の個人の LinkedIn 認証情報を使用して認証するか、メンバーアカウントを新規作成できます。

シングルサインオンを使用する理由

- 会社の既存の認証を活用する
- 自社の従業員が個人アカウントではなく、会社で設定したパスワードプロトコルを使用することで、セキュリティが向上する
- 従業員の退職時のユーザー管理を簡素化する

シナリオの説明

この文書では、テスト環境で Azure AD SSO を設定およびテストする方法を説明します。

- LinkedIn ラーニングは、SP および IDP 起点の SSO をサポートしています
- LinkedIn ラーニングは、Just In Time (JIT) ユーザープロビジョニングをサポートしています

ギャラリーからの LinkedIn ラーニングの追加

Azure AD への LinkedIn ラーニングの統合を設定するには、ギャラリーから管理対象 SaaS アプリの一覧に LinkedIn ラーニングを追加する必要があります。

1. 職場または学校アカウント、個人用 Microsoft アカウントを使用して、Azure ポータルにサインインします。

2. 左側のナビゲーションウィンドウで、[Azure Active Directory] サービスを選択します。
3. [Enterprise Applications] に移動してから、[All Applications] を選択します。
4. 新しいアプリケーションを追加するには、[New application] を選択します。
5. [Add from the gallery] セクションの検索ボックスに、「LinkedIn Learning」と入力します。
6. 結果パネルから [LinkedIn Learning] を選択して、アプリを追加します。お使いのテナントにアプリが追加されるまで数秒待ちます。

LinkedIn ラーニングに対する Azure AD SSO の設定およびテスト

「B.Simon」というテストユーザーを使用して、LinkedIn ラーニングに Azure AD SSO を設定してテストします。SSO を機能させるには、Azure AD ユーザーと LinkedIn ラーニングの関連ユーザーとの間にリンク関係を確立する必要があります。

LinkedIn ラーニングに Azure AD SSO を設定してテストするには、次の手順を実行します。

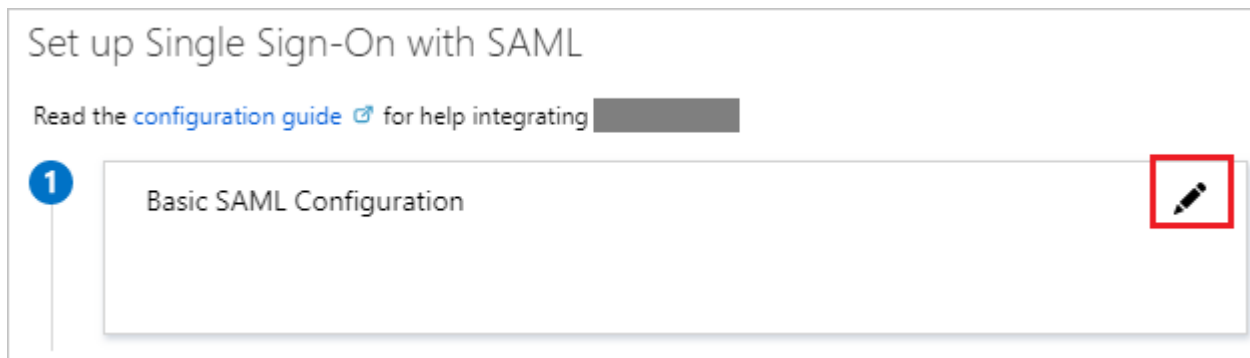
1. [Azure AD SSO の設定](#) - ユーザーがこの機能を使用できるようにします。
 - a. [Azure AD のテストユーザーの作成](#) - 「B.Simon」を使用して、Azure AD シングルサインオンをテストします。
 - b. [Azure AD のテストユーザーの割り当て](#) - 「B.Simon」が Azure AD シングルサインオンを使用できるようにします。
2. [LinkedIn ラーニングの SSO の設定](#) - アプリケーション側でシングルサインオン設定を構成します。
 - [ライセンスの割り当て](#) - LinkedIn ラーニングで「B.Simon」と同等の Azure AD ユーザー権限にリンクさせます。

3. [SSO のテスト](#) - 設定が正常に機能するかどうかを確認します。

Azure AD SSO の設定

Azure ポータルで Azure AD SSO を有効にするには、次の手順を実行します。

1. Azure ポータルの LinkedIn ラーニングアプリケーション統合ページで [Manage] セクションを見つけて、[single sign-on] を選択します。
2. [Select a single sign-on method] ページで [SAML] を選択します。
3. [Set up single sign-on with SAML] ページで、[Basic SAML Configuration] の鉛筆アイコンをクリックして設定を編集します。




4. [Basic SAML Configuration] セクションで、アプリケーションを IDP 起点モードで構成する場合は、次のフィールドに値を入力します。
 - a. [Identifier] テキストボックスに、LinkedIn ポータルからコピーしたエンティティ ID を入力します。
 - b. [Reply URL] テキストボックスに、LinkedIn ポータルからコピーした Assertion Consumer Service (ACS) URL を入力します。
 - c. SP 起点モードでアプリケーションを構成する場合は、[Basic SAML Configuration] セクションの [Set additional URLs] オプションをクリックして、サインオン URL を指定します。ログイン URL を作成するには、Assertion Consumer Service (ACS) URL をコピーして、/saml/を/login/で置き換えます。これが終了すると、サインオン URL は次のパターンになります。

<https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise/login/<AccountId>?application=learning&applicationInstanceId=<InstanceId>>


注: これらの値は実際の値ではありません。これらの値は、実際の識別子と応答 URL で更新します。これについては、チュートリアル「LinkedIn ラーニングの SSO の設定」セクションで後述します。





5. LinkedIn ラーニングアプリケーションでは、特定の形式の SAML アサーションを使用するため、カスタム属性マッピングを SAML トークン属性の構成に追加する必要があります。次のスクリーンショットは、デフォルトの属性の一覧を示しています。ここで、**nameidentifier** は **user.userprincipalname** にマッピングされています。LinkedIn ラーニングアプリケーションでは、**nameidentifier** が **user.mail** にマッピングされると想定されているため、[Edit] アイコンをクリックして、属性マッピングを変更する必要があります。

2


User Attributes		
givenname	user.givenname	
surname	user.surname	
emailaddress	user.mail	
name	user.userprincipalname	
Unique User Identifier	user.userprincipalname	

6. [Set up single sign-on with SAML] ページの [SAML Signing Certificate] セクションで、[Federation Metadata XML] を探して [Download] を選択し、証明書をダウンロードして、お使いのコンピューターに保存します。




3 SAML Signing Certificate 

Status	Active
Expiration	
Notification Email	
App Federation Metadata Url	https://login.microsoftonline.com/  
Certificate (Base64)	Download
Certificate (Raw)	Download
Federation Metadata XML	Download

7. [Set up LinkedIn Learning] セクションで、要件に基づいて適切な URL をコピーします。

4 Set up 

You'll need to configure the application to link with Azure AD.

Login URL	https://login.microsoftonline.com/0a... 
Azure AD Identifier	https://sts.windows.net/0ac53016-30... 
Logout URL	https://login.microsoftonline.com/co... 

[View step-by-step instructions](#)

Azure AD のテストユーザーの作成

このセクションでは、Azure portal で「B.Simon」というテストユーザーを作成します。

1. Azure ポータルの左側のウィンドウから、[Azure Active Directory]、[Users]、[All users] の順に選択します。
2. 画面上部の [New user] を選択します。
3. [User] プロパティで、次の手順を実行します。
 - d. [Name] フィールドに「B.Simon」と入力します。

- e. [User name] フィールドに「username@companydomain.extension」と入力します。例えば、「B.Simon@contoso.com」のように入力します。
- f. [Show password] チェックボックスをオンにし、[Password] ボックスに表示された値を書き留めます。
- g. [Create] をクリックします。

Azure AD のテストユーザーの割り当て

このセクションでは、「B.Simon」に LinkedIn ラーニングへのアクセスを許可することで、このユーザーが Azure シングルサインオンを使用できるようにします。

1. Azure ポータルで [Enterprise Applications] を選択し、[All applications] を選択します。
2. アプリケーションの一覧で [LinkedIn Learning] を選択します。
3. アプリの概要ページで [Manage] セクションを見つけて、[Users and groups] を選択します。
4. [Add user] を選択し、[Add Assignment] ダイアログで [Users and groups] を選択します。
5. [Users and groups] ダイアログの [Users] の一覧から [B.Simon] を選択し、画面の下部にある [Select] ボタンをクリックします。
6. ユーザーに役割が割り当てられることが想定される場合は、[Select a role] ドロップダウンから選択できます。このアプリに対して役割が設定されていない場合は、[Default Access] の役割が選択されていることを確認します。
7. [Add Assignment] ダイアログで、[Assign] ボタンをクリックします。

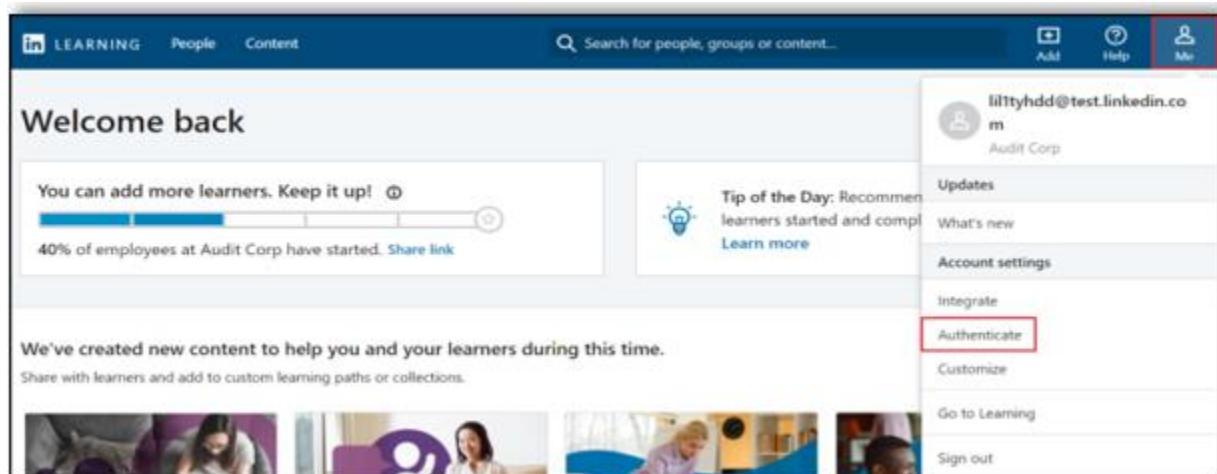
LinkedIn ラーニングの SSO の設定

LinkedIn ラーニングの SSO を設定するには、以下の手順を実行します。

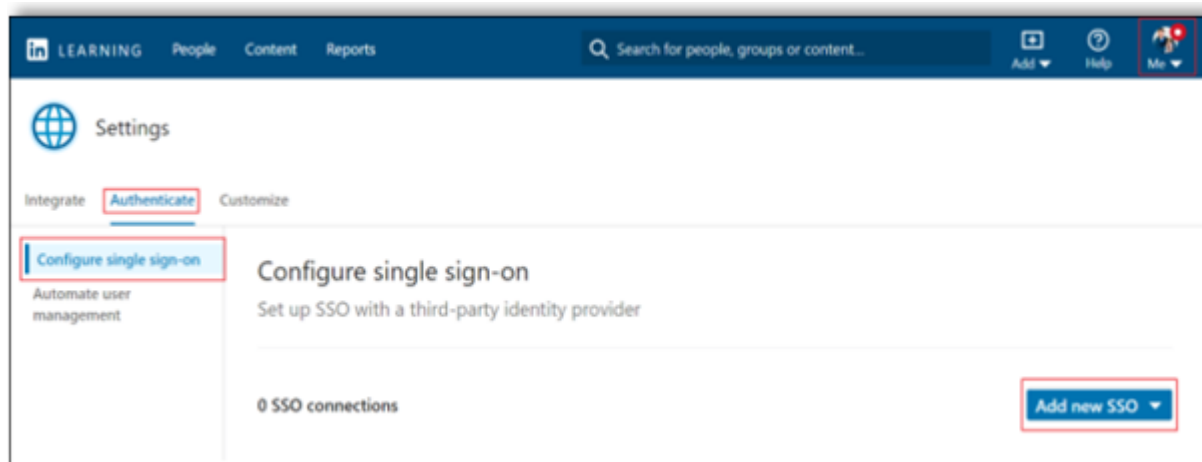
SSO の開始

SSO 設定を開始するには、次の手順を実行します。

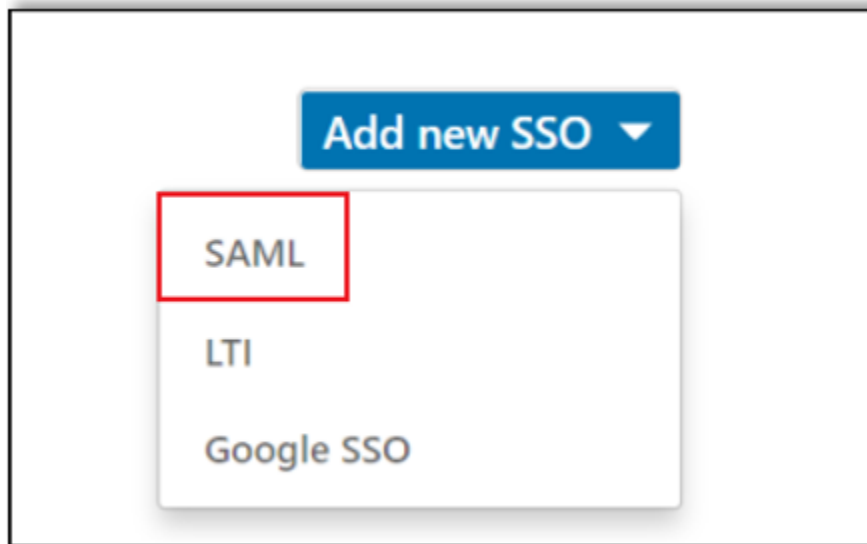
1. ログインした後、[管理者] 画面が表示されていない場合は、[管理者ページ] > [プロフィール] > [認証] の順に選択します。



2. サイドナビゲーションメニューから [シングルサインオンの設定] を選択し、[新規 SSO を追加] をクリックします。



3. SSO 方法を 1 つ選択します (この場合は「SAML」)。



4. SSO 接続に名前を付けます。

A screenshot of a configuration window titled 'Authenticate users with SAML SSO' with a close button (X) in the top right corner. The window has three tabs: 'Basics' (highlighted with a red border), 'Identity provider settings', and 'SSO settings'. Under the 'Basics' tab, there is a text input field for 'SAML Connection Name' with a help icon (i) to its right. The field contains the text 'SAML-1' and has a character count '6/50' to its right. Below this is a toggle switch for 'Automatically provision licenses' with the text 'Grant licenses to your learners automatically when they click an activation link.' and the label 'Off'. At the bottom right of the window are two buttons: 'Cancel' and 'Next' (highlighted with a red border).

5. [次へ] をクリックし、[こちら](#)に表示される手順に従います。

6. [SSO の設定] で、SSO オプションを選択します。

- AuthnRequest 署名:
 - はい

- いいえ (デフォルト)
- SAML リクエストバインディング:
 - HTTP リダイレクト (デフォルト)
 - HTTP-Post
- アサーションコンシューマーサービスの URL を含める:
 - はい
 - いいえ (デフォルト)
- 認証リクエスト署名アルゴリズム:
 - SHA1 (デフォルト)
 - SHA256
- AuthnContextClassRef - 使用する値が不明の場合は、「デフォルト値 (この値を送信しません)」を使用します。

7. [保存] をクリックします。

Sign AuthnRequest
☒ No (default) ☐ Yes

Include Assertion Consumer Service URL
☒ No (default) ☐ Yes

AuthnContextClassRef
Don't send this value (default) ▼

SAML Request Binding
☒ HTTP-Redirect (default) ☐ HTTP-Post

Authentication Request Signing Algorithm
☒ SHA1 (default) ☐ SHA256

Cancel Save

ID プロバイダーへの接続

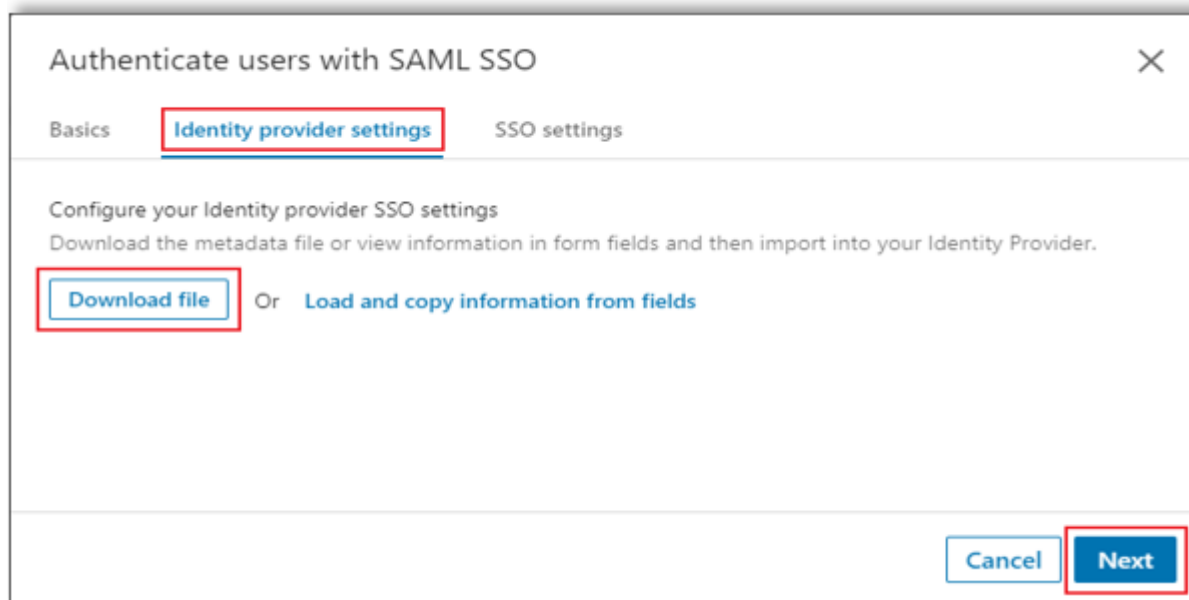
ID プロバイダーがメタデータの読み込みをサポートしている場合、XML 設定ファイルをダウンロードして ID プロバイダーに送信できます。ID プロバイダーは、LinkedIn ラーニングに接続するための設定を指定して、XML 設定ファイルをアップロードできます。

メタデータファイルをダウンロードできるかどうか、または各フィールドで作業する必要があるかどうかを確認し、次のセクションのいずれかの手順を実行します。

ファイルのダウンロード

メタデータファイルを使用して IdP を設定するには、次の手順を実行します。

1. [ID プロバイダー設定] タブで、[ファイルをダウンロード] をクリックして、ID プロバイダーシステムで使用できるメタデータファイルをダウンロードします。 metadata.xml ファイルがコンピューターにダウンロードされます。



2. ID プロバイダーシステムにアクセスします。
3. メタデータファイルをアップロードします。

注: このファイルは、ID プロバイダーにインポートできない場合があります。例えば、Okta にはこの機能はありません。構成要件に一致する場合は、[各フィールドでの操作](#)を続行します。

4. [次へ] をクリックします。

詳しくは、[ID プロバイダーの設定](#)を参照してください。

各フィールドでの操作

LinkedIn ラーニングアプリケーションインターフェイスの各フィールドで IdP を設定するには、次の手順を実行します。

1. [ID プロバイダー設定] タブで、[フィールドから情報を読み込んでコピー] をクリックします。

The screenshot shows a configuration window titled "Authenticate users with SAML SSO". It has three tabs: "Basics", "Identity provider settings" (which is selected and highlighted with a red box), and "SSO settings". Below the tabs, there is a section titled "Configure your Identity provider SSO settings" with the instruction "Download the metadata file or view information in form fields and then import into your Identity Provider." and a "Download file" button. Below this, there are three input fields: "Entity ID" with the value "https://www.linkedin.com/learning/ABEAAAAA", "Assertion Consumer Service (ACS) URL" with the value "https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise", and "SP X.509 Certificate (signing)" with a long base64-encoded string. At the bottom right, there are "Cancel" and "Next" buttons, with the "Next" button highlighted by a red box.

2. 含めるフィールドをコピーして貼り付けます。
3. [次へ] をクリックします。

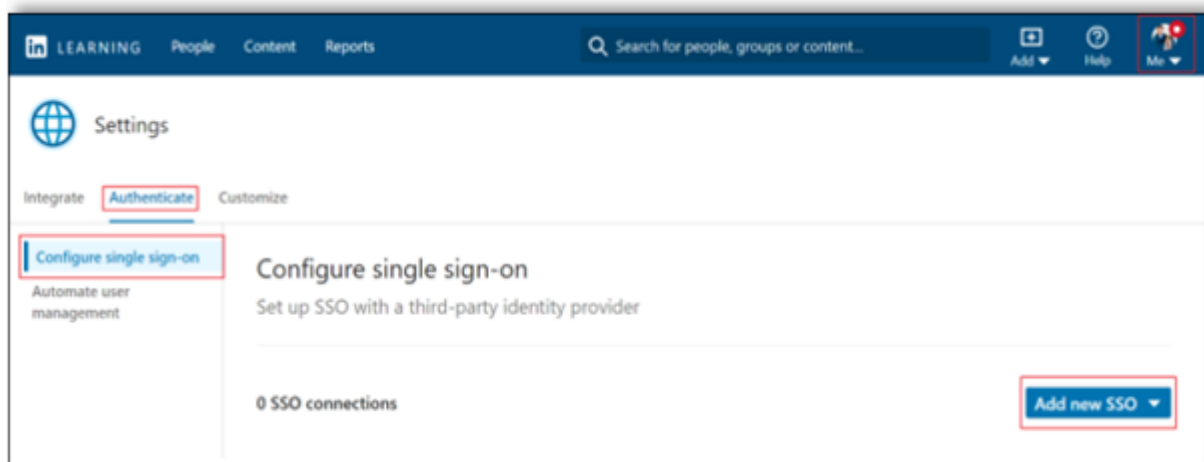
ID プロバイダーの設定

LinkedIn のプラットフォームと通信できるように ID プロバイダーを設定します。ID プロバイダーからメタデータファイルをアップロードできるかどうか、または手動で値を入力する必要があるかどうかを判断し、次のセクションのいずれかの手順を実行します。

ファイルのアップロード

.xml ファイルのアップロードを介して SSO を設定するには、次の手順を実行します。

1. ログインした後、[管理者] 画面が表示されていない場合は、[管理者ページ] を選択してから、[プロフィール] > [認証] の順に選択します。
2. [シングルサインオンの設定] を選択します。
3. [新規 SSO を追加] をクリックします。
4. SSO プロトコル ([上記](#)参照) を選択します。



5. [ダウンロード] をクリックします。 metadata.xml ファイルによって LinkedIn ラーニングのメタデータがコンピューターにダウンロードされます。
6. [次へ] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "Authenticate users with SAML SSO" with a close button (X) in the top right corner. It has three tabs: "Basics", "Identity provider settings" (which is selected and highlighted with a red box), and "SSO settings". Below the tabs, the text reads: "Configure your Identity provider SSO settings" and "Download the metadata file or view information in form fields and then import into your Identity Provider." There are two options: a "Download file" button (highlighted with a red box) and the text "Or Load and copy information from fields". At the bottom right, there are "Cancel" and "Next" buttons, with the "Next" button highlighted by a red box.

7. [SSO の設定] ボックスで、[XML ファイルをアップロード] をクリックし、ID プロバイダーからメタデータファイルを追加します。

The screenshot shows the same dialog box, but the "SSO settings" tab is now selected and highlighted with a red box. The text reads: "Configure the LinkedIn service provider SSO settings." and "Get a metadata file from your identity provider and upload it here, or manually enter the values." There are two radio button options: "Upload XML file" (which is selected and highlighted with a red box) and "Manually enter values". Below the "Upload XML file" option is a button labeled "Upload XML file", also highlighted with a red box.

4. ダウンロードしたファイルに移動して選択し、[開く] をクリックします。成功すると、メタデータが入力されたフィールドが表示されます。

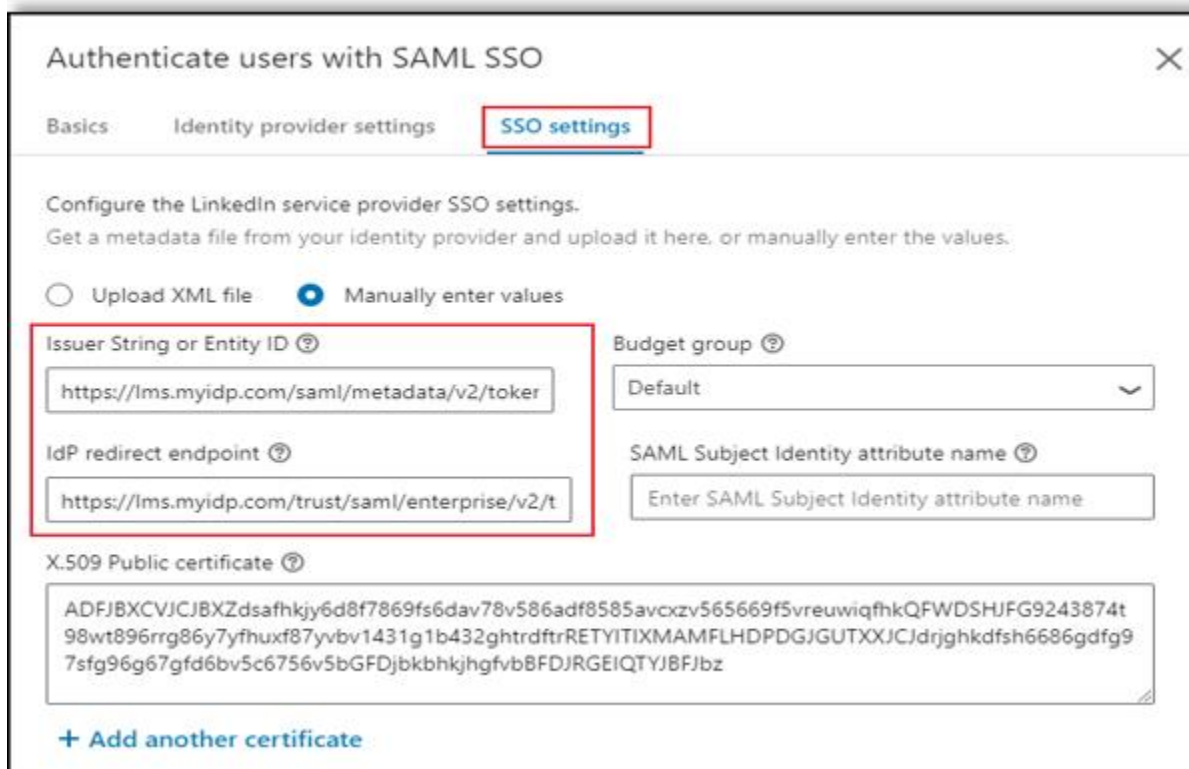
値の手動入力

SSO を手動で設定するには、次の手順を実行します。

1. [SSO の設定] タブから [手動で値を入力] オプションボタンを選択して、データを手動で追加します。
2. 次のフィールドにデータを入力します。
 - **発行元の文字列またはエンティティ ID:** [md:EntityDescriptor entityID] フィールドと一致する必要があります。
 - **予算グループ:** デフォルトオプションを選択するか、空白のままにします。
 - **IdP リダイレクトエンドポイント:** [md:SingleSignOnService location] フィールドと一致する必要があります。 **注:** LinkedIn は現在、 urn:oasis:names:tc:SAML:2.0:bindings:HTTP-Redirect binding のみをサポートしています。
 - **SAML サブジェクト識別属性名:** 従業員の識別に使用される SAML 認証応答の属性名です。LinkedIn は、以下のルールを使用して従業員を特定しています。
 - SAML 認証応答が属性のセットを含む SAML アサーションを提供する場合、このテキストフィールドに従業員の ID を含む属性の SAML 属性名を指定できます。例えば、 employeeId という SAML 属性に整数の employeeId が送信された場合、 [SAML サブジェクト識別属性名] フィールドに employeeId を入力できます。LinkedIn は各アサーションに送信された employeeId を使用して従業員 ID を検索します。
 - このフィールドに何も指定されていない場合、LinkedIn は <saml:Subject>に送信された NameId の値で従業員を検索します。このフィールドは一意の ID でなければなりません。この値がメールアドレスでない場合、追加属性としてメールアドレスを指定することを強くお勧めします。
 - [SAML サブジェクト識別属性名] フィールドに設定された属性でユーザーを検索できない場合、または <saml:Subject>で NameID として設定された一意の識別子でユーザーを検索できない場合、LinkedIn はそのユーザーを認証しません。自動ライセンスプロビジョニングが有効にな

っていて、ユーザーが見つからない場合は、この値を使用してユーザープロフィールが新規作成されます。

- 。 公開証明書: LinkedIn は、ID プロバイダーが署名に使用する x.509 証明書を使用して、SAML 認証応答で送信された SAML アサーションの妥当性を検証します。認証応答の署名を検証できない場合、ユーザーは認証されません。



Authenticate users with SAML SSO

Basics Identity provider settings **SSO settings**

Configure the LinkedIn service provider SSO settings.
Get a metadata file from your identity provider and upload it here, or manually enter the values.

☐ Upload XML file ☒ Manually enter values

Issuer String or Entity ID ⓘ

Budget group ⓘ

IdP redirect endpoint ⓘ

SAML Subject Identity attribute name ⓘ

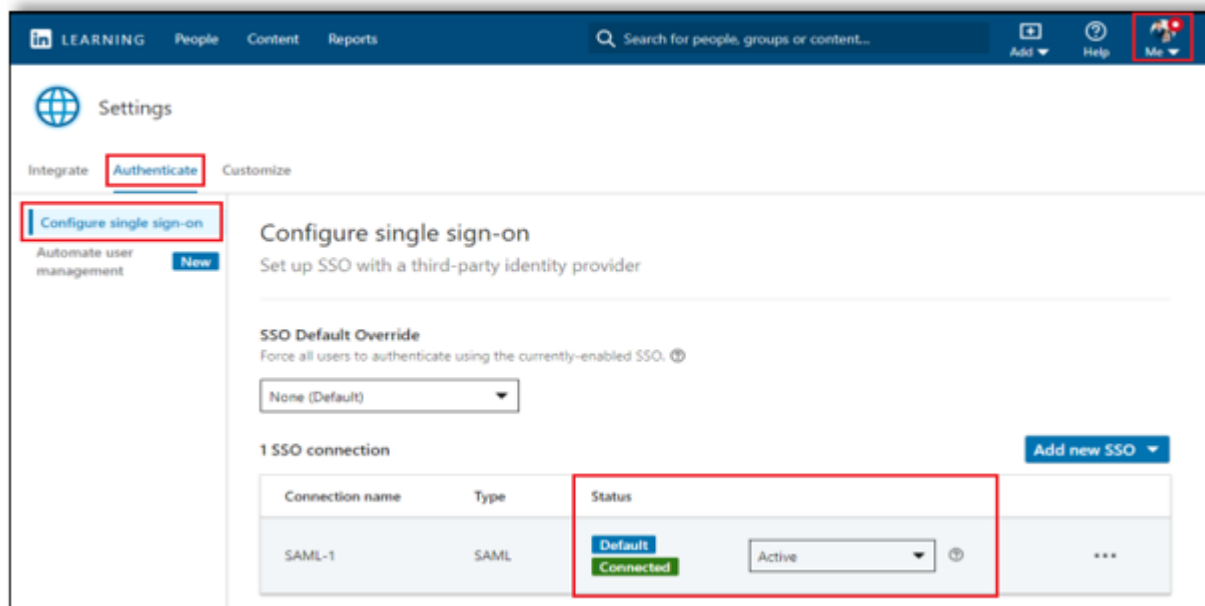
X.509 Public certificate ⓘ

+ Add another certificate

3. [保存] をクリックします。

シングルサインオンの有効化

設定が完了したら、[SSO ステータス] ドロップダウンから [有効] を選択して、SSO を有効にします。使用可能なオプションを使用するタイミングについては、以下の [有効なオプション](#) の表を参照してください。



有効なオプション

ステータス	説明
無効	<ul style="list-style-type: none"> SSO 実装の設定は不要です。 ユーザーは、LinkedIn ベースのロジックを使用して、割り当てられたライセンスにサインインできます。
パイロットモード (IdP のみ)	<ul style="list-style-type: none"> SSO が設定され、構成されています。 パイロットモードでは、IdP を介してアクセス権を付与された従業員の IdP 起点のフローに対して SSO が強制されますが、SP 起点のフローの場合は通常の LinkedIn ベースのサインインが可能です。ユーザーがサインインするために、IdP を使用して認証を受ける必要はありません。LinkedIn から直接アプリケーションにアクセスできます。 このモードは、SSO を初めて設定する場合に便利ですが、テストが完了した後は使用しないようにしてください。 SSO がパイロットモードの場合、新規ユーザーは追加できません。これは、アクティブにテストを

	実行しているときに、SSO 管理者が一時的に使用する必要があります。
有効	<ul style="list-style-type: none"> SSO が設定され、有効になっています。 ユーザーは、IdP 起点のフローまたは SP 起点のフローを介してサインインする必要があります (IdP が IdP 起点のフローのみをサポートしている場合を除き、SP 起点のフローはサポートされません)。どの方法を使用するかに関係なく、認証が必要です。
警告:	初回設定後に [有効] を選択する場合は、SSO が正常に機能していることを確認するまでウィンドウを閉じないでください。閉じてしまうと、アカウントで SSO を無効にするためにカスタマーサポートへの連絡が必要になります。SSO を [有効] にする前に、[パイロット] オプションを使用して IdP 起点のフローを検証することをお勧めします。

- IdP 起点のフロー: ユーザーが ID プロバイダー (Okta、Azure、Ping など) でアプリケーションにアクセスする場合。
- SP 起点のフロー: ユーザーが LinkedIn ラーニング (サービスプロバイダー) に直接移動してライセンスにアクセスする場合。

ライセンスの割り当て

SSO が有効になると、[ライセンスの自動割り当て] を [オン] に切り替えて、従業員にライセンスを自動的に割り当てることができます。このオプションを有効にすると、ユーザーは初めて認証されたときに、自動的にライセンスが付与されます。

ライセンスの割り当てを自動化するには、次の手順を実行します。

1. [その他のオプション] (「...」) アイコンをクリックし、[編集] を選択します。

2. [ライセンスの自動プロビジョニング] の切り替えを [オン] に設定します。
3. [保存] をクリックします。

Authenticate users with SAML SSO

Basics Identity provider settings SSO settings

SAML Connection Name ⓘ

SAML-2 6/50

Automatically provision licenses
Grant licenses to your learners automatically when they click an activation link.

On

Cancel Save

注:

- このオプションを有効にしない場合、[ユーザー] タブで、管理者が手動でユーザーを追加する必要があります。LinkedIn ラーニングは、ユーザーをメールアドレスで識別します。
- このオプションを有効にすると、一致する識別子を持つ既存のユーザーが見つからない場合、認証時に新しいユーザープロファイルが自動的に作成されます。

NameID (フィールド)

LinkedIn ラーニングはデフォルトで、SAML 応答の NameID フィールドに送信された値を、ユーザーの一意の ID として使用します。この値は、サービスプロバイダーが一般的に使用するものなら何でもかまいません。LinkedIn ラーニングに統合されている学習管理システム (LMS) を使う予定の場合は、具体的な SSO ID を LinkedIn ラーニングに送信する必要があります。

ます。この ID はユーザーの LMS ID と一致している必要があり、LinkedIn ラーニングがレポートメッセージを LMS に送信できる必要があります。

ライセンスを自動的に割り当てるための要件

SAML 2.0 が普及した理由の 1 つは、サービスプロバイダーに追加情報を送信する際の柔軟性です。ID プロバイダーがアサーションを送信する場合、ユーザーを説明する属性が含まれます。これらの属性により、LinkedIn はユーザーを特定し、ユーザーを自動的にプロビジョニングすることができます。このセクションでは、いくつかの使用可能な属性について説明します。

LinkedIn ラーニングアプリケーションは、Just In Time (JIT) ユーザープロビジョニングをサポートしており、認証後、アプリケーションでユーザーが自動的に作成されます。LinkedIn ラーニングポータル管理者設定ページで、[ライセンスの自動割り当て] スイッチを [有効] に反転すると、Just In Time プロビジョニングとこの操作により、ライセンスがユーザーに割り当てられます。

メールアドレス (強く推奨)

EmailAddress は、SSO の有無に関係なくユーザーを識別するために使用できます。メールアドレスはユーザーのメイン識別子として使用できますが、変更されることのない従業員 ID やその他の一意の値を使用して、追加属性としてメールを含めることを推奨します。

ID プロバイダーは異なる命名規則を使用しているため、LinkedIn は次の属性名でメールアドレスを順番に検索します。

- EmailAddress
- email
- Email
- Mail
- emailAddress
- User.email

ID プロバイダーが別の命名規則を使用している場合、次のセクションで命名規則を設定できます。

名前 (オプション)

ID プロバイダーは、メールアドレスと同様に、複数の共通フィールドに名前を送信する場合があります。LinkedIn は、ほとんどの ID プロバイダーとの互換性を即座に提供するため、以下の属性名で名前を検索します。

- FirstName
- first_name
- firstname
- firstName
- User.FirstName

姓 (オプション)

LinkedIn は、以下の属性名で姓を検索します。

- LastName
- last_name
- lastname
- lastName
- User.LastName

設定の確認

ID プロバイダーと正常に統合されていること、および次の条件が満たされていることを確認します。

- SSO が有効で、[有効] に設定されている。

- LinkedIn ラーニングアプリケーションが ID プロバイダーで以前に指示された手順に従って設定されている。
- IdP で設定されている LinkedIn ラーニングアプリケーションが適切なユーザーにプロビジョニングされている。
- SAML サブジェクト NameID 値が SAML 応答で送信されるか、SAML サブジェクト ID が識別子として代替属性名を使用するために [LinkedIn サービスプロバイダーの SSO 設定] で定義されている。

次のログイン情報を使ってテストします。

- ID プロバイダーが開始するログインの場合
 - ID プロバイダーから直接 LinkedIn ラーニングを起動する。
- サービスプロバイダーが開始するログインの場合
 - 最初に、ブラウザーで URL からアカウント ID を検索する。例:
[<https://www.linkedin.com/learning-admin/settings/global?account=2108666>](https://www.linkedin.com/learning-admin/settings/global?account=2108666)
 - SP 起点の URL を作成するには、次の形式を使用します。
 形式:
[<https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise/login/accountid/?application=learning>](https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise/login/accountid/?application=learning)
 - 例:
[<https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise/login/2108666?application=learning>](https://www.linkedin.com/checkpoint/enterprise/login/2108666?application=learning)
 - この SP 起点の URL は、自動ライセンスプロビジョニングが有効になっている場合に新規ユーザーを有効にするために使用できます。
- すでに自分の LinkedIn プロフィールを LinkedIn ラーニングに接続している場合は、
[<https://www.linkedin.com/learning/login>](https://www.linkedin.com/learning/login)
 にアクセスして、LinkedIn 資格情報を使ってログインします。IdP に移動して認証を受けた後、LinkedIn ラーニングにリダイレクトされます。

注: LinkedIn プロフィールを LinkedIn ラーニングに関連付けていても、ブラウザで LinkedIn セッションを開いていない場合、SSO での認証後、個人の資格情報で LinkedIn にログインするように求められる場合があります。これは SSO とは別の動作のため、SSO が破損しているわけではありません。

SSO のテスト

このセクションでは、次のオプションを使用して Azure AD のシングルサインオン設定をテストします。

SP 起点:

- Azure ポータルで [Test this application] をクリックします。これにより、ログインフローを開始できる LinkedIn ラーニングのサインオン URL にリダイレクトされます。
- LinkedIn ラーニングのサインオン URL に直接移動して、そこからログインフローを開始します。

IDP 起点:

- Azure ポータルで [Test this application] をクリックすると、SSO を設定した LinkedIn ラーニングに自動的にサインインされます。

Microsoft マイアプリを使用して、任意のモードでアプリケーションをテストすることもできます。マイアプリで [LinkedIn Learning] タイルをクリックすると、SP モードで構成されている場合は、ログインフローを開始するためのアプリケーションサインオンページにリダイレクトされます。IDP モードで構成されている場合は、SSO を設定した LinkedIn ラーニングに自動的にサインインされます。マイアプリの詳細については、[マイアプリの概要](#)を参照してください。

次のステップ

LinkedIn ラーニングを設定したら、組織の機密データを流出と侵入からリアルタイムで保護するセッション制御を適用することができます。セッション制御は、条件付きアクセスを拡張したものです。 [Microsoft Cloud App Security でセッション制御を強制する方法をご覧ください。](#)

以上で操作は完了です。受講者は、複数のシングルサインオン (SSO) 方法で、LinkedIn ラーニングコンテンツにアクセスできるようになりました。

サポート

サポートドキュメントおよびその他のリソースは、以下から入手できます。

サポートドキュメント

- [SSO の実装](#)
- [ADFS SSO](#)
- [Google SSO](#)
- [複数の認証 SSO](#)
- [Okta SSO](#)
- [CSV Org Sync を使用したユーザーの一括追加と管理](#)
- [プライバシーとセキュリティに関するホワイトペーパー: アカウントセンターの従業員データベース統合 \(EDI\) とシングルサインオン \(SSO\)](#)

技術的な問題

SSO の設定で技術的な問題が発生した場合、 [LinkedIn ラーニングのヘルプセンター](#)を通じてアカウントチームまたはアプリケーションサポートチームにお問い合わせください。

LinkedIn のプライバシーおよびデータセキュリティポリシー

<https://www.linkedin.com/legal/privacy-policy>

LinkedIn のセキュリティに関する連絡先

セキュリティに関するご質問がある場合や、セキュリティ上の問題を報告する場合は、
security@linkedin.com までお問い合わせください。